

## 知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in日光 発言及び回答要旨

1	日時	令和7(2025)年9月13日(土) 午後1時30分～3時42分
2	場所	日光市役所 本庁舎1階市民ホール
3	出席者	参加者57名(男性39名、女性18名) 県側出席者：知事、総合政策部長、県土整備部長、政策企画監
4	発言数	16件(うちアンケート2件)

### 主な発言事項

No.	発言事項	関係部局
1	ライブができるアリーナの会場について (アンケート)	総合政策部、生活文化スポーツ部
2	カードによる地域おこしについて	県土整備部
3	通信環境の整備について	総合政策部
4	林業振興について	環境森林部
5	男女賃金格差について (アンケート)	産業労働観光部
6	アンコンシャスバイアス解消のための取組について	総合政策部、経営管理部、生活文化スポーツ部、教育委員会事務局
7	県道249号の整備促進について	県土整備部
8	日光杉並木街道へのLRT導入について	県土整備部
9	花粉症対策について	環境森林部、保健福祉部
10	例幣使街道について	県土整備部
11	「緑の甲子園」の開会式について	生活文化スポーツ部
12	人間と動物の共存	環境森林部

13	國學院大学栃木短期大学の学生募集停止に伴う学芸員育成への影響について	総合政策部、生活文化スポーツ部
14	防災庁誘致について	総合政策部、危機管理防災局
15	若年層への子育て教育について	総合政策部、保健福祉部、教育委員会事務局
16	認知症対策について	保健福祉部

## 知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in日光 発言及び回答要旨

区分：地域版 開催日：令和7(2025)年9月13日(土)

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
1	ライブができるアリーナの会場について	アンケート1位 (日光市、20歳代、男性)	日光市の今市文化会館がなくなってしまいが、栃木県にもアーティストがライブをすることができるアリーナレベルの会場を作ってほしい。	<p>回答者：知事</p> <p>県としての現状であるが、大規模な人数を収容できる大型アリーナの建設については、現時点において計画していない。</p> <p>ただし、既存の施設では音楽ライブなど多様なイベントが数多く開催されている。例えば県総合文化センターでは、クラシック、邦楽、演歌、ポップスなど幅広いジャンルのアーティストによるコンサートが行われ、多くのファンに親しまれている。</p> <p>また、真岡市の井頭公園では、県が後援・共催する野外音楽フェス「ペリテンライブ」が毎年開催されており、昨年は2日間で約2万1千人の県内外の若者が集まった。今年も9月27日・28日の2日間での開催が予定されている。</p> <p>さらに、宇都宮市文化会館や那須野が原ハーモニーホールなど、県内各地のホールやライブハウスでは、著名なアーティストによる公演が定期的に行われ、地域文化の振興に寄与している。</p> <p>栃木県は首都圏に近いという地理的優位性に加え、自然、文化財、観光名所など多様な地域資源を有している。</p> <p>今後もこれらを活用しつつ、各種イベントの誘致に力を入れていく方針である。県外から多くの来訪者を迎える取り組みを進めるとともに、県民が身近な場所で質の高い公演を鑑賞・体験できる機会の充実にも努めていく。</p> <p>なお、日環アリーナ（ブレックスのチャンピオンシリーズ準決勝・決勝の会場）でも音楽イベントの開催が可能であり、過去にも実施されている。音響についても良好との評価を得ている。</p> <p>また、カンセキスタジアムでは、国体の開会式後に県出身アーティストによるライブが開催されたが、運動施設であるにもかかわらず音響効果が良かったとの評価を受けている。最大収容人数は2万5千人であり、このような施設も積極的に活用していただきたい。</p> <p>入場料収入を目的としない場合には、施設を比較的安価に借りることが可能であり、割引制度も設けている。</p> <p>まずは既存施設の活用を検討していただきたいと考えている。</p>	<p>総合政策部 広報課 (広報担当) TEL:2191</p> <p>生活文化スポーツ部 文化振興課 (文化芸術担当) TEL:2153</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
2	カードによる地域おこしについて	栃木市 60歳代 男性	県で警察・消防などと連携し、集客や地域振興につながるカードを作成し、カードによる地域おこしを企画してはどうか。	<p>回答者：県土整備部長</p> <p>県土整備部で作成しているカードとしては、全国的に有名な「ダムカード」がある。県内にも複数のダムがあり、電力会社など、それぞれの管理者に対応したカードが配布されている。</p> <p>ダムカードについては、各ダムの管理事務所や管轄の土木事務所等で配布している。また、全国の自治体で発行されている「マンホールカード」も存在し、これは各市町の特徴的なマンホールデザインをカード化したものである。</p> <p>マンホールカードについては、上三川町多功にある栃木県下水道管理事務所においても配布している。</p> <p>栃木県内でも複数の自治体が参加している。</p> <p>「橋カード」は県が整備した斜張橋などの特徴的な橋を紹介するカードである。これらのカードは県内の道の駅などで一部配布しており、希望する方は受け取ることができる。</p> <p>回答者：知事</p> <p>カードケースをイベントで記念品として過去に渡していたことがあったので、今後県のイベント、日光市のイベントでお渡しすることが多くの方々に好まれるか確認しながら、検討する。</p>	<p>県土整備部 砂防水資源課 (ダム水資源担当) TEL:2565</p> <p>上下水道課 (下水道担当) TEL:2506</p> <p>道路整備課 (構造物担当) TEL:2414</p>
3	通信環境の整備について	日光市 70歳代 女性	<p>観光行政の尽力により、全国から多くの来訪者がある一方、繁忙期には携帯通信が不能となる事態が発生している。</p> <p>通信不良により決済端末が使用不能となり、販売機会を失う事業者も多く、観光地として深刻な課題となっている。</p> <p>世界遺産ゆえの景観・建築制約は承知しているが、観光地の利便性確保のため、景観に配慮した高所アンテナ設置など、何らかの改善策を講じていただきたい。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>現在、インバウンド観光客を年間3,000万人から6,000万人へと倍増させる目標が掲げられており、それに伴い通信環境への需要も急速に高まっている。</p> <p>外国人観光客が大量に訪れれば、通信回線の容量が逼迫し、結果として通信が不安定になることは、ある意味当然の現象である。</p> <p>通信環境の整備は全国的な課題であり、本来は国が主導して取り組むべきものである。しかし、観光客が集中する地域で通信が不安定になると、「日光は不便である」という印象を与え、観光地としての魅力に大きく影響を及ぼすおそれがある。</p> <p>そのため、5Gをはじめとする通信インフラ整備は国全体の課題として認識しており、国に対して改善を求めているところである。</p> <p>また、県としても通信事業者に対し、ご指摘のあった世界遺産エリア周辺の通信環境について、個別に改善が可能か改めて意見を伝えていく考えである。</p>	<p>総合政策部 デジタル戦略課 (デジタル社会推進担当) TEL:2824</p> <p>産業労働観光部 観光交流課 (インバウンド推進担当) TEL:3309</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
4	林業振興について	日光市 50歳代 男性	栃木県の林業振興について、今後どのように考えているか伺う。 若いフォレストワーカーの給与については、林業の担い手確保のためにも、適正な報酬水準の実現に向けた支援をお願いしたい。	<p>回答者：知事</p> <p>林業は農業と同様に「稼げる産業」として位置付けられ、観光とも連携して県が力を入れる分野である。</p> <p>昭和57年頃やそれ以前に植えられた木々が伐期を迎え、資源として活用できる段階にある今、「伐って、使って、植えて、育てる」という循環の推進が重要となっている。このため、スマート林業機械の導入を進め、伐期を迎えた山林から木材を効率的に搬出し、住宅や非住宅建築物に活用している。海外輸出も視野に県産材輸出の取組も始めており、林業は今後さらに有望な分野と考えている。</p> <p>県では林道整備や機械導入支援にも力を入れており、若い世代に活躍してほしいと期待している。</p> <p>一方で、策定中の5年間の林業振興計画（とちぎ森林・林業創生ビジョン）では植栽本数の目安を1,500本程度とするが、高齢層には旧来の3,000本植栽を支持する声が残り、密植によって作業効率が低下する課題がある。</p> <p>若い世代が効率的な大規模経営に取り組むには、林業従事者全体の意識改革が不可欠であり、これは農業にも通じる問題である。</p> <p>また、県内には「女性は家庭、男性は仕事」という無意識の性差別が依然として存在し、若者の首都圏流出の背景にもなっている。</p> <p>林業でも同様に、若い世代が中心となって効率的経営を進められるよう、県はスマート林業機械の導入を支援するとともに、長年林業に携わってこられた先輩方には意識改革を促し若者を支えてもらいたい。</p> <p>あらゆる物価の高騰により木造住宅の建設費は上昇している。県が建設を計画する文化・芸術拠点も坪単価が数年前の1.5倍となっている。</p> <p>こうした中で木材供給現場の給与が変わらないのは不合理であり、県産材のブランド化や海外輸出などを通じて木材の高付加価値化を進め、利益を現場に還元する仕組みづくりが必要である。</p> <p>犠牲の上に成り立つ産業は継続しないため、県として全力で支援する方針である。</p>	<p>環境森林部 林業木材産業課 (生産力強化担当) TEL:3272 (循環型林業担当) TEL:3286 (木材産業担当) TEL:3276</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
5	男女賃金格差について	アンケート2位 (日光市、70歳代、女性)	栃木県は男女賃金格差がワーストであり、原因と思われるものを教えてほしい。また、今後の対策をどうお考えなのか。	<p>回答者：知事</p> <p>国の調査結果によると、令和6年（昨年度）の栃木県の給与水準は、男性が全国9位、女性が13位と、男女とも全国的に上位に位置している。</p> <p>しかし、フルタイムで働く男性の給与を100とした場合、女性は74であり、この賃金差は令和5年時点で全国47位、つまり最下位であった。</p> <p>令和5年の数値は71.0であったが、そこから3ポイント改善し、直近の発表では全国44位となり、最下位は脱したところである。</p> <p>この賃金格差の要因としては、女性の勤続年数が男性に比べ短いこと、女性の管理職比率が低いことなどが挙げられる。</p> <p>したがって、女性が長く働き続けられる環境の整備や、女性が活躍できる職場づくりが必要である。</p> <p>県としては、男女ともに働きやすい職場環境の整備を推進するとともに、女性管理職の育成やキャリアアップ支援に取り組んでおり、これらを総合的に進めることで賃金格差の是正につなげていく考えである。</p> <p>つまり、男性の方が勤続年数が長く、管理職比率も高い結果として賃金が高くなるという構造的要因が存在している。</p> <p>女性が長く働ける環境を整え、管理職として登用される機会を増やすことが、格差是正の鍵となる。</p> <p>ここで、会場の皆様にもお願いしたい。</p> <p>職場において、男性・女性ともに能力が同じで、どちらが部長になってもおかしくない状況があるとすると、</p> <p>その際、会社の社長や事業所の所長が「男性の方が無難である」と考えてしまう傾向がある。</p> <p>「なぜ女性を選んだのか」と周囲から言われることを避けるために、男性を選ぶ確率が高くなってしまっている。</p> <p>したがって、経営者や管理職の皆様には、同じ能力であれば女性を選ぶという選択肢も積極的に取ることができるような職場環境づくりを、ぜひお願いしたい。</p>	<p>産業労働観光部 労働政策課 (労働経済・福祉担当) TEL:3536</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
6	アンコンシャスバイアス解消のための取組について①	宇都宮市 50歳代 女性	<p>「とちぎ人口減少克服宣言」には、魅力あるとちぎを築くため、無意識の思い込みや偏見（アンコンシャス・バイアス）を無くし、未来志向で社会づくりに取り組むと記されている。</p> <p>ある県立高校の文化祭ポスターを見た際に、地域社会における女性の見えにくさを象徴しているように見えた。</p> <p>優秀な生徒や職員であっても、アンコンシャス・バイアスが可能性を閉ざすことがある。</p> <p>「とちぎ人口減少克服宣言」に記された取り組みが、今後どのように具体化されるのかを伺いたい。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>文化祭展示ポスターにおける表記の件についてであるが、私も不適切ではないかと感じている。</p> <p>今後、表記の在り方については、子どもたちが作成したものであっても、学校側がしっかりと内容を確認し、不適切な表現が含まれていないかを点検するよう指示していく考えである。</p> <p>高校で学ぶ子どもたちが誇りを持って学び、男性・女性を問わず社会に貢献できる大人へと成長していったらいいと願っている。</p> <p>また、大人になってから学び直しを行う方々もおり、そうした人々も誇りを持って学べる環境づくりを今後も推進していく。</p> <p>育児休業については、県庁では昨年度、「育休取得率100%」を目指す目標を掲げ、令和6年度には目標を達成し、率先垂範の姿勢を示すことができた。</p> <p>今後もこの姿勢を継続していく所存である。</p> <p>また現在、議会に提出している予算案には、「性別によるアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」への気づきを促す施策を盛り込んでいる。</p> <p>具体的には、職場・家庭・地域などで県民が感じたアンコンシャス・バイアスに関するエピソードを広く募集するコンテストの実施、さらには幅広い世代に対応した普及啓発コンテンツの作成などを通じ、社会全体の意識改革を推進していきたいと考えている。</p> <p>男女がともに輝ける社会をつくることは、我が国初のG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が開催された地としての責務でもある。</p> <p>この会合は日光市で開催されたが、その開催地としての責任は栃木県にある。</p> <p>県としてその責務を果たすべく、教育委員会とも連携しながら、社会全体のジェンダーギャップ解消に向け積極的に取り組んでいく。</p>	<p>経営管理部 人事課 (人事担当) TEL:2038</p> <p>生活文化スポーツ部 人権男女共同参画課 (女性活躍推進担当) TEL:3074</p> <p>教育委員会事務局 教育政策課 (人権教育室担当) TEL:3363</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
7	県道249号の整備促進について	日光市 70歳代 男性	<p>県道249号黒部西川線は沿線住民の生活を支える重要な道路であり、観光産業を中心とする地域経済にとっても不可欠な存在であるが、対向車とのすれ違いが困難な箇所が残っている。また、大雨の度に土砂崩落の危険が懸念される地点も多い。</p> <p>安全・安心な交通確保と地域振興のため、当該区間の早期整備を強く望む。</p>	<p>回答者：県土整備部長</p> <p>県道249号黒部西川線は湯西川温泉街へ向かう観光に必要な重要な道路であるとともに、日常生活を支える生活密着型の重要な道路であると認識している。</p> <p>湯西川ダム の整備もあつたことから、湯西川温泉街の湯平橋付近までは道幅が広く整備されているところである。</p> <p>一方、その先の奥部までの整備については、現時点において具体的な道路整備計画を有しているわけではない。</p> <p>しかしながら、湯西川温泉街周辺では、豪雨時に土砂が流出したり、大雪時に積雪により通行に支障が出たりするなど、運転に苦勞する状況があることも承知している。</p> <p>このため、必要な維持管理については、日光土木事務所を通じて舗装の修繕や除雪などにしっかりと対応してまいる所存である。</p> <p>今後の整備については、他の路線を含め様々な整備要望があることから、順次整備を進めている状況であり、一定の時間を要する見込みである。</p>	<p>県土整備部 道路整備課 (整備計画担当) TEL:2411</p> <p>道路保全課 (計画保全担当) TEL:2430</p>
8	日光杉並木街道へのLRT導入について	日光市 10歳代 男性	<p>日光杉並木にLRTを通すと、経済効果も得られるし、採算性もあると思う。</p> <p>ぜひご検討いただきたい。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>日光杉並木について「車は通さない」「舗装も剥がす」「江戸時代の姿に戻す」ことを目指しているものであり、これが我々の求めていく杉並木の姿である。</p> <p>この方針のもと、三街道では道路のバイパス整備を進めており、現在、三街道において整備が残されているのは、文挾バイパスの板荷・鹿沼間の約7.7kmのみである。</p> <p>この区間の整備が完了すれば、三街道のバイパス整備はすべて終了することになる。</p> <p>生活の関係上、どうしても車が通行しなければならない方々が存在するため、完全な通行止めにはできないが、目指す姿は「舗装のない道路」であると考えている。</p> <p>そのため、LRTを杉並木の中に通す案については、世界的にも注目され、ブランド力向上につながる可能性がある一方で、「江戸時代の姿に戻そうとしているのに、それに逆行するのではないか」といった意見が出ることも想定されるため、慎重な検討が必要であると考えている。</p> <p>しかしながら、私の持論としては、将来的に日光線はLRT化した方が利便性が向上し、沿線の魅力も高まると考えている。</p> <p>既存の鉄道を活用し、そこにLRTを走らせることは十分に可能性のある方策であると思っている。</p>	<p>県土整備部 交通政策課 (公共交通担当) TEL:2522</p> <p>道路保全課 (道路管理担当) TEL:2429</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
9	花粉症対策について	日光市 20歳代 男性	毎年花粉症が非常にひどく困っている 県として花粉症に対する補償や医療的 支援などの対策を検討しているか伺う。	回答者：知事 花粉症は国を挙げての課題であり、国では関係閣僚会議が設置され、発生源対策、飛散対策、発症・暴露対策の三本柱による花粉症対策の全体像がとりまとめられている。また、「花粉症対策（初期）集中対応パッケージ」においては、発生源対策として令和15年度までに花粉の発生源となるスギ人工林を約2割減少させることを目標とし、スギ人工林伐採重点区域を設定したうえで、人工林の伐採・植え替えを重点的に進めることとなっている。 県では、国の発生源対策関連補助事業に加え、「とちぎの元気な森づくり県民税」などを活用し、少花粉スギへの植え替えや広葉樹への転換を推進している。 国の掲げる令和15年度までの2割削減という目標達成に向けて、今後も取り組みを進めていく考えである。	環境森林部 林業木材産業課 (循環型林業担当) TEL:3286
10	例幣使街道について	日光市 70歳代 男性	例幣使街道の整備方針を、日光杉並木の保全と地域住民の安全、両方の両面から検討いただきたい	回答者：県土整備部長 例幣使街道は、板橋バイパスの先の3.7kmを整備すれば、杉並木の区間を迂回する形となるため、杉並木の保存に大いに資するものと考えている。  回答者：知事 また、全長37kmの日光杉並木街道沿いには、地域の伝承版のような案内板が設置されているが、杉並木に関する断り書きや説明文が老朽化し、判読が困難であるとの意見が寄せられている。 優先度の高い箇所から標識・標示類を更新し、日光杉並木に関する説明板を新しくする事業も含まれているため、これから審議・議論が行われる予定である。	県土整備部 道路整備課 (整備計画担当) TEL:2411  道路保全課 (道路管理担当) TEL:2429  警察本部 交通部 交通企画課 交通指導課 TEL:028-621-0110

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
11	「緑の甲子園」の開会式について	日光市 70歳代 女性	「緑の甲子園」の開会式を日光市内で開いていただきたい。	<p>回答者：知事</p> <p>「緑の甲子園」についてであるが、私も今回初めて、開会式が日光ではなく宇都宮市で開催されることに気が付いたところである。</p> <p>これまでは、日光市内で開催される高校生および中学生のゴルフ選手による全国大会を、総称して「緑の甲子園」と呼んでおり、継続して日光で実施されてきたものである。開会式の開催場所については大会事務局が決定する事項であるため、こちらから「あちらで実施せよ」「こちらで実施せよ」と指示するものではない。</p> <p>ただし、もし事務局から相談があれば、「可能な限り日光市内で開催できるよう検討してほしい」とお伝えするようになりたい。</p> <p>主催者側の意向もあると考えられるため、その点を尊重しつつ、支障のない範囲で我々としても開会式および閉会式の開催場所について、これまで日光市で継続して行われてきた経緯を踏まえ、今後も日光市を選択肢として念頭に置いていただけるよう、大会事務局に働きかけてまいりたい。</p>	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 (競技力向上担当) TEL:3368
12	人間と動物の共存	栃木市 60歳代 男性	<p>最近、イノシシ、熊、猿といった自然の動物が畑や市街地に出没し、人に被害を及ぼしている現実があると考えている。</p> <p>野生動物と人間の生活圏との境界を形成し、自然の動物が人間社会に入り込まないようにする取組が必要だと考える。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>人と動物が共存できる環境づくりが必要であるという意見が多く寄せられている。シカ・イノシシ・ツキノワグマ・ニホンザルについては、個別の管理計画を策定し、地域ぐるみで総合的な対策を進めているところである。</p> <p>特に人身被害が懸念されるツキノワグマについては、果樹や食べ残し、生ごみなどのニオイに誘引されて出没する傾向があるため、こうした「誘引物」をなくすことが重要である。</p> <p>さらに、出没時の対応を含め、人とクマとの適切なすみ分けを図ることとしている。引き続き、動物と共存できる環境づくりに向けて関係機関と連携し取り組んでいるが、まずは人命を守ることが最も重要であると考えている。</p> <p>そのうえで、クマが市街地に出没しないような環境整備にも併せて取り組んでまいりたい。</p>	環境森林部 自然環境課 (野生生物・鳥獣対策班) TEL:3261

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
13	國學院大学 栃木短期大 学の学生募 集停止に伴う 学芸員育成 への影響につ いて	宇都宮市 20歳代 女性	國學院大學栃木短期大学の学生の 募集停止に伴い、県内で歴史学を専 門的に学び、学芸員資格を取得でき る教育機関が消滅する恐れがある。 世界遺産や足利学校など豊かな歴史 を有する栃木県から、こうした学びの場 が失われることは大きな損失と考える。	回答者：知事 栃木県には、日光の社寺や杉並木街道をはじめ、歴史的価値の高い文化資源が数多く ある。 歴史学や文化財に関する専門的知識を有する学芸員は、文化財の調査・研究を行い、 それらを活かした保護・活用において重要な役割を担っている。 國學院大學栃木短期大学は、地域に根ざして歴史教育を担い、学芸員養成においても 大きな役割を果たしてきた。 今回の募集停止は誠に残念であるが、18歳人口の減少や四年制大学志向の高まりに 伴い、志願者・入学者の減少が止まらず、学生確保が困難であると判断したと聞いている。 県としては、県立博物館などにおいて学生の博物館実習の受け入れを今後も継続すると ともに、子どもたちが文化や文化財に親しむ機会を充実させ、地域の歴史や文化への興 味・関心の向上に取り組んでまいりたい。	総合政策部 広報課 (広聴担当) TEL:2158  生活文化スポーツ部 文化振興課 (文化財保護担当) TEL:3421

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
14	防災庁誘致について	日光市 70歳代 男性	<p>防災庁の設置を日光市に誘致すべきであると考えます。</p> <p>理由は三点ある。</p> <p>第一に、日光市には十分な敷地が確保できることである。</p> <p>第二に、日光市は南関東と東北地方の双方にアクセスしやすい地理的条件を備えていることである。</p> <p>第三に、日光市は災害が比較的少ない地域であることである。</p> <p>以上の理由から、防災庁の設置については、ぜひ日光市をご検討いただきたいと思いますと考えている。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>過日、内閣府を訪問し、防災庁の設置について要望を行ってきたところである。</p> <p>現在、国においては防災庁をどこに設置するか、その機能や組織の在り方、さらには全国に配置する支部・支所の設置について検討を進めているとの説明があった。</p> <p>栃木県をはじめ、関西広域連合のように複数府県が合同で招致している地域もあり、これらを一つの団体と見なしたとしても、全国でおよそ19の団体が防災庁の誘致活動を行っているとのことである。</p> <p>今後、国から防災庁の設置場所や、支部・支所の数、各拠点が持つべき機能などが公表され、それを踏まえて具体的な設置場所の検討が進むものと考えている。</p> <p>栃木県は災害が比較的少なく、東京にも近く、高速道路や新幹線といった高速交通網も充実しており、非常時の対応がしやすい地域である。そのため、防災庁の設置候補としてぜひ栃木県を選んでほしい旨を申し述べてきたところである。</p> <p>仮に栃木県内に支所等が設置されることになれば、国から一定の条件が示されるはずであり、次の段階として、県内のどの地域が最適かという議論が始まるものと思われる。</p> <p>しかしながら、現時点ではまだ入口の段階であり、今後の国の動向を注視する必要がある。</p> <p>また、今後政権が変われば政策方針が変更され、「防災庁は設置しない」という判断がなされる可能性も否定できず、先行きは不透明であるため、引き続き動向を見極めていく必要があると考えている。</p>	<p>総合政策部 総合政策課 (政策調整・地方分権担当) TEL:2209</p> <p>危機管理防災局 危機管理課 (総務企画担当) TEL:2695</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名（担当）
15	若年層への子育て教育について	日光市 80歳代 女性	<p>ボランティア「赤ちゃん先生がやってくる」という授業を中学生に実施しており、子育て支援の原点となる取り組みであると考えている。</p> <p>県内では日光市のみで行われ、他地域での実施は確認できない。</p> <p>今後、県としてこの取り組みを広く周知していただければありがたいと考えている。</p>	<p>回答者：総合政策部長</p> <p>「赤ちゃん先生がやってくる」という取組は、中学生や高校生が乳児と触れ合うことにより、子どもに対する理解を深める大変有意義な活動であると考えている。</p> <p>私は総合政策部で人口減少対策を所管しているが、人口の流出入の問題に加え、出生率の向上も重要な課題である。</p> <p>その意味でも、若い世代が子どもと触れ合う体験を持つことは極めて大切である。</p> <p>教育委員会では「じぶん未来学」を全県的に実施し、将来のライフステージを学ぶ機会を設けているほか、「喜びのある子育て」推進キャンペーンなども行い、子どもを産み育てたいと考える方々を後押しする施策を推進しているところである。</p> <p>ご紹介いただいた活動は極めて重要な取組であると認識しており、引き続きご協力をお願いしたい。</p>	<p>保健福祉部 こども政策課 （子育て環境づくり推進担当） TEL:3068</p> <p>教育委員会事務局 義務教育課 （指導担当） TEL:3390</p> <p>高校教育課 （指導担当） TEL:3382</p> <p>生涯学習課 （ふれあい学習担当） TEL:3404</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
16	認知症対策について	下野市 50歳代 男性	県は認知症予防をどのように位置づけ、どのような方向性で支援しようとしているのかを確認したい。	<p>回答者：知事</p> <p>認知症を完全に予防する方法は確立していないが、運動不足の改善、生活習慣病の予防、社会参加による孤立の解消など、ライフスタイルの改善によって進行を緩やかにすることは期待できる。</p> <p>また、たとえ認知症と診断された場合でも、適切な治療やケアを早期に開始することで、進行を遅らせるとともに、本人の希望に沿った生活に備えることが可能である。</p> <p>県では、早期発見・早期診断・早期対応の推進に向け、身近な医療機関で気軽に相談できる「物忘れ・認知症相談医」（とちぎオレンジドクター）の登録拡充と周知を図っている。併せて、認知症医療の拠点である「認知症疾患医療センター」を中心とした医療提供体制の整備にも取り組んでいる。</p> <p>さらに、県民の正しい知識と理解の促進のため、「認知症サポーター養成講座」を開催しており、私も受講者の一人である。</p> <p>また、家族の支援ニーズとサポーターをつなぐ「チームオレンジ」の整備、認知症本人の意見を把握するための「本人ミーティング」の実施、若年性認知症支援コーディネーターの配置による相談支援など、地域における多様な取組を進めている。</p> <p>加えて、かかりつけ医や医療従事者向けの「認知症対応力向上研修」、介護従事者を対象とした研修を実施し、人材育成と総合的な認知症施策の推進を図っている。</p> <p>今後は、国の「認知症施策推進基本計画」に示された“新しい認知症観”の普及啓発、認知症本人や家族との意見交換の充実に取り組むとともに、県として「認知症施策推進計画」の策定を進めてまいらる。</p> <p>認知症の人を含め、すべての県民が互いに尊重し合い、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会の実現を目指す。</p>	<p>保健福祉部 高齢対策課 (地域支援担当) TEL:3148</p>

※関係課名(担当)欄の電話番号は市外局番の表示があるものを除き、栃木県庁028-623-各課共通(4ケタ番号)を記載しています。